



平成 26 年 2 月 21 日

各 位

会 社 名 **株式会社 MORESCO**  
 代表者名 代表取締役社長 赤田 民生  
 (コード番号 5018 東証第一部)  
 問合せ先 管理本部広報室長 田中 真人  
 TEL 078 - 303 - 9058

## MORESCO 中期経営計画(2014～2016 年度)について

この度、当社グループ中期経営計画のローリングを実施し、2014年度から2016年度までの3年間を対象とした **MORESCO** グループの中期経営計画を策定しましたので、その概要についてお知らせします。

### 1. 中期経営ビジョン

「小さくとも世界にきらりと光を放つ **MORESCO** グループ」  
 —水と油と高分子のスペシャリストとして社会の発展に貢献する—

### 2. 中期経営方針

- 1) 世界に通用するオンリーワン製品を開発する
  - 2) グローバルな視点で成長市場に事業展開する
  - 3) 生産プロセスの革新により、品質とコスト競争力を強化する
  - 4) グループ内外企業と連携し、ビジネスチャンスを広げる
  - 5) 多様な人材が織り成す活力ある組織を目指す
  - 6) コンプライアンス・リスク管理を充実し、ステークホルダーの信頼を高める
- (以上は昨年度発表と変更ありません。)

### 3. 中期経営計画策定についての考え方

世界経済は、中国、東南アジア等新興国の成長率は鈍化するものの、全体としては緩やかに上昇が続くと予想され、当社製品の需要分野である自動車、電子機器、衛生材料等の市場も、まずは順調に拡大するものと思われま。一方、国内経済は、足元消費税引き上げにともなう景気減速懸念はあるものの、為替動向等経済環境の大きな変動がなければ、中期的には緩やかながら成長軌道を維持すると期待されます。

当社はこのような環境の下、今後の成長分野あるいは成長エリアを中心に、積極的に経営資源を投入し、様々なニーズを先取りする新製品を開発、国内外のマーケットにそれら製品やサービスを提供していくことにより、経営基盤を更に強固なものとし、広く社会に貢献することを目指してまいります。

### 4. 売上高、利益計画 (連結)

(単位：百万円)

	2013 年度見込	2014 年度	2015 年度	2016 年度
売 上 高	24,200	27,300	30,800	33,700
営 業 利 益	1,900	2,100	2,500	2,900
経 常 利 益	2,100	2,400	2,800	3,200
当 期 純 利 益	1,200	1,350	1,600	1,900
経 常 利 益 率	8.7%	8.8%	9.1%	9.5%

注) 2013 年度見込は当中期経営計画発表日現在の業績予想値です。

## 5. 中期経営計画

### 5.1 中期経営計画の重点事業戦略（各部門概要）

#### ①特殊潤滑油部門

主な需要先である自動車産業においては、中国や東南アジアを中心とした新興国や北米での生産台数の増加が見込まれております。これに対応して、国内トップシェアのダイカスト用油剤では、現地の製品開発体制を一層充実させることにより、現地ニーズに応じた新製品をスピーディーに提供し、世界のトップメーカーを目指します。また、切削油剤部門を金属加工油事業部として機能材事業部から分離独立させ、中国、東南アジアでの需要の捕捉に積極的に取り組みます。さらに昨年締結した日華化学株式会社との間の主要原料調達に関わる業務提携、同社から譲り受けたダイカスト用油剤、熱間鍛造潤滑剤の市場展開については、提携による成果を確実に確保していきます。

#### ②合成潤滑油部門

高温用合成潤滑油は、自動車電装部品向けの高温度軸受用グリースの基材として使用されており、高いシェアを有するオンリーワン製品と位置付けられておりますが、今後は国内はもとより、中国、欧州での市場展開の可能性をも追求してまいります。

ハードディスクドライブについては需要の伸び率鈍化の傾向がありますが、内蔵ディスクの枚数増が見込める企業向けサーバー用やバックアップ用などは今後も順調に成長すると予想されており、ハードディスク表面潤滑剤の需要は安定的な伸びが見込まれます。さらに、高記録密度化のニーズに対応する新潤滑剤の開発等により、更なる顧客の満足度を高めてまいります。

#### ③素材部門

主力製品である流動パラフィンは、国内ではリチウムイオン電池生産向けや化粧品向け、ポリスチレン向けなどトップメーカーとして安定した市場を確保していますが、今後急成長が見込まれる中国市場へ、まずは製品輸出という形で進出を開始いたしました。既存用途以外の新用途開発にも取り組み、新規顧客の獲得を目指していきます。

#### ④ホットメルト接着剤部門

主要用途である衛生材料向けは、国内では大人用紙おむつ向けを主要ターゲットとしてきましたが、生活水準の向上により中国、東南アジア等で子供用紙おむつの需要が急成長しており、同製品向けの大きな需要を取り込むため、生産能力の増強に取り組んでまいります。今年中に中国天津に新たな工場を建設するほか、一昨年進出したインドネシア工場についても、周辺国の需要をも捕捉するため製造ラインを増設いたします。

また、ラベル等の粘着材分野では、配送伝票などのビジネスフォーム向けの開発等に注力、VOC（揮発性有機化合物）への対策として今後大きな需要増加が見込まれる、自動車内装用反応型ホットメルト接着剤の開発、市場展開を強化します。

### 5.2 部門別売上高の計画（連結）

（単位：百万円）

	2013年度見込	2014年度	2015年度	2016年度
化学品事業	24,150	27,250	30,750	33,650
特殊潤滑油部門	10,890	11,950	12,130	12,700
合成潤滑油部門	2,340	2,460	2,880	3,180
素材部門	3,840	4,190	4,410	4,630
ホットメルト接着剤部門	5,670	6,900	9,010	10,590
その他	1,410	1,750	2,320	2,550
賃貸ビル事業	50	50	50	50
合計	24,200	27,300	30,800	33,700

注）2013年度見込は当中期経営計画発表日現在の売上高予想値です。

## 6. 海外戦略および新製品開発

### 6.1 海外戦略

引き続き、自動車関連や衛生材料分野の成長が見込まれる新興国において、特殊潤滑油、ホットメルト接着剤などの事業展開を積極的に推進してまいります。同時に、自動車関連等で世界の強力なコンペティターと競り合っている中国、北米を重要市場と位置付け、マーケティング、性能、コスト面等で競合各社を凌駕すべく体制を強化していきます。

中国では、R&D部門を一層強化するとともに、重点地域をターゲットに現地販売網を拡充し、日系のみならず欧米系、中国系企業への販売に力を注いでまいります。米系油剤メーカーが圧倒的に強い北米市場においても、近年ようやくその一角に食い込みつつありますが、現地の開発体制強化に加え本社開発陣の強力なバックアップにより、市場での存在感を更に高めてまいります。また、日系をはじめとする自動車メーカーが急速に進出しつつあるメキシコにおける活動を拡大し、積極的に需要を取り込んでまいります。

### 6.2 新製品開発

新製品開発では、「環境関連分野」、「情報関連分野」、「エネルギーデバイス分野」の3分野に重点をおき、世界に通用するオンリーワン製品の開発に取り組み、高付加価値製品の開発に注力していきます。

#### 1) 環境関連分野

自動車関連部品の製造工程で重要な役割を担う特殊潤滑油分野では、省資源、省エネルギーに貢献する高機能製品の開発を進めます。少量塗布で優れた離型性や潤滑性を発揮するダイカスト用油剤、難削材を加工できる切削油剤、リチウムイオン電池筐体の製造工程の短縮に寄与するプレス加工用潤滑剤など、オリジナリティーの高い製品開発に取り組んでおり、これら製品の早期市場展開を目指します。

溶剤を含まず環境負荷軽減に寄与するホットメルト接着剤分野では、反応型ホットメルト接着剤等が国内自動車メーカーの一部車種で内装用に採用されていますが、耐熱性をさらに向上させるとともに低コスト化を実現し、グローバルな展開に結び付けてまいります。

#### 2) 情報関連分野

ハードディスクメディアの高記録密度化にともない、より高度な次世代記録方式に対応したハードディスク表面潤滑剤の先行開発を積極的に進め、潤滑剤の薄膜化や耐熱性の向上に注力し、新機種での採用を目指します。また、ディスク以外のハードディスクドライブ関連分野にも裾野を広げ、既に動圧軸受用潤滑剤や超精密加工用切削油剤などの潤滑剤に進出していますが、市場シェアをより高めるべく新製品の開発を推進します。

#### 3) エネルギーデバイス分野

有機合成技術、配合技術、高分子材料の変性技術などを生かし、今後の成長が期待される有機ELパネルや照明、有機薄膜太陽電池などの有機デバイスの長寿命化に貢献する高バリア性封止材料の開発を加速します。既に国内大手のユーザーで一部採用いただいておりますが、更に性能アップに努めるとともに、有機デバイス分野で高いシェアを有する韓国、台湾企業での本格的な採用に向けて注力してまいります。

以上